

学校教育目標

ふるさとを愛し、共に学び 鍛え 高め合う 綾上っ子の育成

めざす子ども像

あかるい子 やさしい子 かんがえる子 みがきあう子

研究主題

話し合いを通してよりよい未来を考える子どもの育成
～子どもが学びを『自分事』として捉える授業づくり～

重点的な取組

学びづくり	心づくり	体づくり
◎社会科を中核に据えた授業研究 ・話し合い活動の活性化 ・自分ごととして協働的に学ぶ ・コミュニケーションタイムの充実 ○社会に開かれた教育課程の推進 ・地域教材の開発 (創立 20 周年記念綾上っ子発表会) ○図書活動の充実 ・読書習慣の定着、電子図書の活用	◎安心して過ごせる集団づくり ・「支え合う関係」と「ルール」のある学級づくり(QUの活用) ・異学年によるペア・きずな活動 ○不登校傾向児童の居場所づくり ・校内サポートルーム(KSR)の運用 ○情報モラル教育の推進 ・ICT支援員との連携、GIGA タイム等の充実	◎運動習慣の確立 ・ハッピーマンデー、サースデーは原則、まずは外に出て過ごす ○生活習慣・食習慣の定着 ・すすくがんばり週間の焦点化 ・給食を生きた教材として活用 ○危機意識を高める学校安全 ・避難訓練、着衣泳等の取組継続

地域・家庭・学校の連携・協働

- 地域に開かれた教育課程の推進
- 学校運営協議会・地域学校協働活動の推進
- こども園、中学校との滑らかな連携
- 交通安全・防犯・防災等、安心・安全の強化

働き方改革：“量は減らしても質は落とさない”

- 業務の効率化・適正化
- 教職員の意識改革
- 保護者・地域との連携

綾上小学校の教職員 ～受容と要求～

- 子どものために全力で
- 子どもの心に寄り添って
- よい指導は、教職員のゆとりから
(適切な勤務時間、ワーク・ライフバランス)

